

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展  
第4回本庄早稲田の杜地域連携展覧会

# 弥生時代の 児玉・深谷地域

令和6年  
1.10(水) ▶ 3.24(日)

休館日/月曜日(休日の場合は翌日)

会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
(早稲田大学3号館)2階 情報資料室

所在地 〒367-0095 埼玉県本庄市吉富田1011

観覧時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料

主催 本庄市教育委員会・美里町教育委員会・神川町教育委員会・上里町教育委員会・深谷市教育委員会・早稲田大学

問合せ TEL 0495-71-6878 FAX0495-71-6879 E-mail humm@city.honjo.lg.jp



本庄早稲田の杜ミュージアム企画展  
第4回本庄早稲田の杜地域連携展覧会

## 弥生時代の児玉・深谷地域

本庄市、美里町、神川町、上里町、深谷市、早稲田大学の6団体が連携して企画展を開催する「本庄早稲田の杜地域連携展覧会」の第4弾！

今回のテーマは「弥生時代」

弥生時代は水田稲作などの農耕が人々の暮らしを支えた時代です。それまでなかった金属器の製作技術が朝鮮半島を経て伝えられるとともに、新しいムラの形である環濠集落が広域に展開した時代でもあります。また、規模や副葬品の卓越した地域の有力者の墳墓が造られ、次代・古墳時代への橋渡しがなされたのもこの時代です。

児玉・深谷地域では、弥生時代前期後半ごろより丘陵の裾部や台地縁辺、段丘上を中心に遺構や遺物がみられるようになります。中期には丘陵・台地上だけでなく沖積地中の微高地上にも再葬墓や墓坑とも目される土坑が造られます。後期以降、丘陵上には小規模な集落が点在しながら集結する傾向が顕著にみられます。

展覧会では、主に発掘調査で出土した資料を出品し、児玉・深谷地域における弥生時代の人々の生活と文化を紹介します。

会期 令和6年1月10日(水) - 3月24日(日)

会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2階 情報資料室

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(休日の場合は翌日) 入館料 無料

関連イベント(講演会・ワークショップ)  
のお知らせは裏面をご覧ください

ミニ企画展

本庄市の遺跡

## 令和5年度 最新出土品展

令和4年11月から令和5年12月までに発掘調査・整理調査を行った5遺跡の調査報告と成果をご紹介します。



本庄市には500箇所を超える埋蔵文化財包蔵地が所在し、毎年発掘調査が行われています。発掘調査は、学術目的のほか、開発に伴い消滅してしまう遺跡を写真や図面に記録し後世へと伝えるために実施されるもので、市の歴史を語るうえで欠くことのできない貴重な資料が発見されています。

最新出土品展では、市内で実施された発掘調査の成果をいち早く公開しています。

会期 令和6年1月10日(水) - 3月24日(日)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム 交流ひろば

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(休日の場合は翌日) 入館料 無料



令和5年度  
本庄市の遺跡  
最新出土品展

本庄市は遺跡の宝庫。昨年もたくさんの発掘調査を行いました。その中から5遺跡をご紹介します。採れた発掘情報をお届けします！

前期 2024.1.10 Wed ▶ 3.24 Sun  
後期 2024.4.8 Mon ▶ 5.31 Fri

本庄早稲田の杜ミュージアム  
早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1階(本庄市吉富田1011)

文化財整理室  
文化財展示コーナー

観覧時間 午前9時～午後4時30分  
休館日 月曜・日曜・4/29・5/3-5/6  
入館料 無料  
問合せ TEL 0495-72-6841

※展覧物の一部は土曜日は整理中とさせていただきます。  
※観覧・発掘の企画内容は別紙にて。

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展  
第4回本庄早稲田の杜地域連携展覧会

# 弥生時代の 児玉・深谷地域

ワークショップ

弥生人のモノづくりに迫る！  
ミニ弥生土器をつくろう

本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」  
を見学して弥生土器の特徴を学んだあと、自然乾燥で固まる粘土  
を使って、自分だけのオリジナル土器をつくりましょう。

開催日 令和6年2月3日(土)・4日(日)  
時間 午前10時～/午後2時～  
※各日2回開催 ※体験時間の目安は90分  
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム  
対象 ミュージアム主催の土器づくりに初めて参加する方  
定員 各回10名(先着順)  
費用 200円(製作キット代)  
注意事項 汚れてもよい服装でご参加ください  
申込方法 1月20日(土)午前9時から①②いずれかの方法  
で申し込みしてください  
①電話 0495-71-6878  
②本庄早稲田の杜ミュージアム窓口

本庄早稲田の杜地域連携展覧会の会期中には、展覧会や児玉・深谷地域における弥生時代をより深く知ってもらうための講演会をはじめ、楽しく弥生時代や弥生土器について学べるワークショップを開催します。

イベントに参加して、児玉・深谷地域の弥生時代について楽しく学びましょう！

## 講演会

### 第1回 再葬墓の時代—弥生文化黎明の不思議な世界—

開催日 令和6年1月28日(日)  
講師 石川 日出志 氏(明治大学文学部教授)

### 第2回 深谷の弥生時代

開催日 令和6年2月17日(土)  
講師 幾島 審 氏(深谷市教育委員会文化振興課)

### 第3回 神川町の弥生時代

開催日 令和6年3月2日(土)  
講師 北山 直人 氏(神川町教育委員会生涯学習課)

(第1回～第3回共通)

講演時間 午後2時～3時30分(開場 午後1時30分)  
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
3階レクチャールーム1  
対象 どなたでも 定員 100名  
費用 無料  
申込方法 1月16日(火)午前9時から①～③いずれかの  
方法で申し込みしてください  
①電話 0495-71-6878  
②メール hwmm@city.honjo.lg.jp  
※本文に受講者名及び電話番号を記載  
③本庄早稲田の杜ミュージアム窓口

早稲田大学展示室企画展

# 下野谷遺跡から 見る風景

縄文時代の人々と竪穴住居の生活



絵画会 西本直央

縄文時代の人々と暮らした  
どのようなものであったか、「住」をテーマに、早稲田大学公認サークルであるアニメーション研究会と絵画会の協力を得て、縄文人の生活を分かりやすくご紹介いたします。

国指定史跡下野谷遺跡(西東京市)は、南関東で最大規模を誇る縄文時代中期の集落で、発掘開始から50年を迎えます。早稲田大学では、下野谷遺跡縄文時代編の報告書刊行にあわせて、その成果と資料を公開します。縄文時代の人々は、海水準の変化を伴う大きな環境変動の中で、狩猟・漁撈・採集により、自然と共生し、持続可能な社会を約1万年以上の長きにわたり営みました。

会期 開催中 - 令和6年5月26日(日) 開館時間 午前9時～午後4時30分  
入館料 無料 休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

下野谷遺跡から見る風景  
— 縄文時代の人々と竪穴住居の生活 —  
The Scenery from SHITANOYA site  
People of the Jomon period and their life in pit dwellings

2023 12・12 2024 5・26  
● 開催 午前9:00～午後4:30 入場無料  
● 開催日 休館日を除く12月28日～1月3日  
● 開催場所 本庄早稲田の杜ミュージアム  
早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
3階レクチャールーム1  
● 主催 早稲田大学文化企画課考古資料館  
● 共催 早稲田大学公認サークル アニメーション研究会、絵画会  
● 協力 早稲田大学展示室

絵画会 西本直央

本庄早稲田の杜  
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM  
ミュージアム

所在地 本庄市西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター(早稲田大学93号館)1階  
開館時間 午前9時～午後4時30分 入館料 無料  
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/3)  
問合せ ☎ 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 ✉ hwmm@city.honjo.lg.jp



本庄早稲田の杜  
ミュージアム HP